

高機能無停電電源装置

APC ES 750

(型番 : BE750G-JP)

仕様書

シュナイダーエレクトリック株式会社

## 1.納入仕様書改版履歴

納入仕様書改版履歴

発行 年月日	変更ページ 変更図番	Rev.	変更理由・変更内容	記印
2010.4.14	新規発行	1	初版発行	GN
2010.9.21	P.11	2	漏れ電流追加	GN
2012.7.31		3	社名変更	MK
2015.9.30	P.8	4	使用済みバッテリー送付先変更	KH

## 2.安全に関する情報

APC 製品、バッテリーの設置および保守の際に従うべき注意事項が記載されています。APC 製品のセットアップ、設置、再配置、保守を担当されるお客様は本仕様書および製品に同梱されているユーザマニュアルを必ずお読みの上、指示に従ってください。

### 本仕様書で使用する規約

このセクションでは、本仕様書を通して使用する記号を定義します。必ず全てに目を通して、指示にしたがってください。

	<b>危険</b>	人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。
	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
	<b>注意</b>	人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

### 取扱い時の安全確保のために

	<b>注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>UPS の質量にご注意ください。装置を持ち上げるときはしっかりと持って運んでください。無理に持ち上げると腰等を痛めたり、落としてケガをすることがあります。</li></ul>	
 <18 kg (40lb.)	
<ul style="list-style-type: none"><li>10° 以上の傾斜のある場所での移動は避けてください。</li><li>本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてケガをすることがあります。</li><li>本装置を不安定な場所に設置しないでください。本装置が倒れ、ケガをすることがあります。</li><li>常時震動する場所や、衝撃の発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。</li></ul>	



## 警告

- ・ 本装置は内部にバッテリーを含んでいます。AC 電源に接続されていない場合でも、出力コンセントに電圧が出力されていることがあります。
- ・ UPS の電源が入っている時は電源ケーブルの入力プラグを抜かないでください。本装置または本装置に接続された機器から安全接地が外れてしまいます。
- ・ 発火または感電の危険性をなくすために、本装置は、温度、湿度管理された、清潔で誘電性の汚染物のない室内に設置してください。水の近く、または極度に湿度の高いところでは使用しないでください。
- ・ 本装置内部に異物を入れないでください。金属類や燃えやすいもの等の異物が入ると内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。万一、異物が入った場合は、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置内部に水等の液体を入れないでください。感電や火災の原因となります。万一、液体が入った場合、本装置をオフにし、電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグを抜いて、弊社までご連絡ください。
- ・ 本装置をほこりの多い所に設置しないでください。ほこりがたまり、内部の部品がショートして感電や火災の原因となります。
- ・ 塩分や腐食性のガスの発生する場所では使用しないでください。
- ・ 本装置の吸気口および排気口をふさがないでください。本装置内部の温度が異常に高くなると、誤動作・故障の原因となるばかりか、火災の原因となります。
- ・ 本装置を直射日光や熱器具の熱が当たるような場所に設置しないでください。熱により火災の原因となります。

## 電気的な安全確保のために



## 危険

- ・ 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。
- ・ 本装置の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じた時は、直ちに本装置の電源を切ってから電源ケーブルの入力プラグをコンセントから抜いてください。使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
- ・ 絶縁耐圧試験、絶縁抵抗試験を行うことを禁止します。発煙、火災、故障の原因となります。
- ・ 強い衝撃や震動を与えないでください。本製品が破損したり、故障の原因となることがあります。



## 警告

- ・ AC100V（50/60Hz）の電源電圧にてご使用ください。規定以外の AC 電源にて使用すると故障し、火災、感電等の原因となります。
- ・ アースを確実に取り付けてください。取り付けない場合、故障・漏電の際に感電の原因となります。また、ノイズ混入の原因にもなります。
- ・ 本装置を設置する前に、電源ケーブル、入力プラグ、出力コンセントに破損のないことを確認してください。破損したものを使用すると、故障、火災、感電等の原因となります。
- ・ 本装置に接続されているケーブル類は曲げたり束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。ケーブルが破損し、感電や火災の原因となります。
- ・ ケーブル類の接続が不完全のまま使用しないでください。ショートや発熱により感電や火災の原因となります。
- ・ コンセント、ケーブル、本装置の背面コネクタは水等で濡らさないでください。感電や火災の原因となります。
- ・ 電源ケーブルの抜き差しは、本装置をオフにし、電源を切ってから入力プラグ部分を持って行ってください。電源ケーブルの破損により感電や火災の原因となります。
- ・ 電源はコンセントから直接とり、タコ足配線はしないでください。コンセントが過熱し、火災の原因となります。
- ・ UPS の最大入力電流以上の電流容量のある電源コンセントに接続してください。電源配線が発熱する事があります。
- ・ 電源ケーブルの接続に延長コードが必要となるようなコンセントから離れた場所に設置しないでください。無停電電源装置の電源仕様と合っていない電源ケーブルに接続すると、電源ケーブルが過熱して火災の原因となります。
- ・ 機器の配線は 2 極 3 線式の交流電源をお使いください。この電源はヒューズやブレーカ等の電気遮断装置に配線されている必要があります。遮断装置を介さない電源への接続は感電の原因となる場合があります。
- ・ 配線の工程を必要とする電気機器の設置は、必ず電気工事の有資格者に依頼してください。
- ・ 危険な状態での単独作業は避けてください。
- ・ 導電体を通じて多量のショート電流が流れると、重度の火傷などの原因になる事があります。



## 注意

- ・ 電源ケーブルを足でひっかけるといった場所には配線しないでください。つまずいて怪我をすることがあります。
- ・ 無停電電源装置の電源ケーブルを接続するコンセントの接地線を他の機器の接地線（とくに大電力を消費する機器等）と共用しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- ・ 本装置はシーケンサ等の電圧波形によって動作を左右されるような工作機械への使用には適しておりません。
- ・ この装置は、短時間の商用電源変動に対応する無停電電源装置ですが、商用電源が常に不安定な環境における商用電源の修正を目的とした使用には適しておりません。
- ・ レーザプリンタを本装置のバックアップコンセントに接続しないでください。レーザープリンタは、定期的に著しい電力を消費するため、本装置が過負荷状態になる可能性があります。

## 電源を切る際の安全確保のために

- ・ 機器にバッテリーなどの内部電源を搭載している場合は、装置が AC 電源に接続されていない場合でも出力側に電力が発生する場合があります。
- ・ UPS の電源を切るには、2 秒以上 OFF ボタンを押し、機器の電源を切ります。次いで、AC 電源ケーブルをコンセントから外して、バッテリーを外します。



### 警告

無停電電源装置は、一般事務室における事務処理用として開発されたものです。したがって、以下のような用途には使用しないでください。

- ・ 人体／生命に重大な影響をおよぼすような医療機器の制御
- ・ きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器等の制御
- ・ 工作機械の制御
- ・ 交通機関（電車や自動車等）の制御や管制

## バッテリーの安全確保のために



### 危険

- ・ バッテリーは定期的に交換してください。
- ・ バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。また皮膚に付着したり目に入った場合、火傷や失明することも考えられます。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。
- ・ 本装置はバッテリーを使用しています。本製品のバッテリーを火の中に入れてください。有毒ガスの発生や爆発、破裂したりする危険性があります。
- ・ バッテリーが液漏れを起こした場合は火気を近づけないでください。
- ・ バッテリーが液漏れを起こした場合、同時に水素ガスが漏れている可能性がありますので、たばこやライター等の火気は絶対に近づけないでください。
- ・ 可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないでください。バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。
- ・ バッテリーを金属物でショートさせないでください。火傷をしたり、火災を引き起こす事があります。また、使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



## 警告

- ・バッテリーの取扱いでは短絡大電流による感電または火傷のおそれがあります。
  - ・次の注意事項を必ず守ってください。
    - ・時計、指輪、ネックレスまたはその他の金属物を外してください。
    - ・絶縁された取っ手のついた工具を使用してください。
    - ・バッテリーの上に工具または金属部品を置かないでください。
  - ・バッテリー配線またはコネクタは絶対に交換しないでください。配線の交換は傷害の原因になります。
  - ・最初に UPS に取り付けられていたバッテリーと同一仕様のバッテリーに交換してください。APC 製のバッテリー以外はサポートしかねますのでご了承ください。
  - ・UPS がバッテリー運転のときに、バッテリー交換をしないでください。
- 
- ・バッテリーは寿命をすぎると、容器の劣化により液漏れすることがあります。漏れ液には希硫酸が含まれているため、発煙、火災の恐れがあります。
  - ・バッテリーの寿命は使用温度条件や負荷容量、放電回数によって大きく変化します。
  - ・本装置周辺の荷物の積み上げ等で換気が妨げられた場合、バッテリーの温度が上昇し、寿命が短縮します。
  - ・本装置は周囲温度が 5～25 °C の範囲内で管理することをお勧めします。

## バッテリーのリサイクル

---

バッテリーに関する情報は下記 URL にて公開しています。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

バッテリーは必ずリサイクルしてください。古いバッテリーは適切なリサイクリング施設まで届けるか、新しいバッテリーの梱包材に包んで送り状に“RBC 交換済み廃棄バッテリー在中”と記述し、廃棄バッテリーであることをご記入のうえ、弊社指定の下記住所までお送りください。詳しくは新しいバッテリーの説明書をご覧ください。(詳細については下記のシュナイダーエレクトリックへの連絡方法を参照)

### ・使用済みバッテリー送付先(弊社指定交換用バッテリーご購入時)

〈東北エリア〉

〒989-2422 宮城県岩沼市空港南4丁目1番5号 鈴与興産(株)倉庫内  
シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター  
使用済みバッテリー受付係 TEL:0223-36-7795

〈関東エリア〉

〒250-0208 神奈川県小田原市下大井726  
シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター  
使用済みバッテリー受付係 TEL:0465-39-2222

〈関西エリア〉

〒569-0061 大阪府高槻市高西町5-8 NTT南高槻内  
シュナイダーエレクトリック株式会社 サービスセンター  
使用済みバッテリー受付係 TEL:072-674-2607

## シュナイダーエレクトリックへの連絡方法

---

弊社連絡先は、下記 URL からご確認ください。

インターネット: <http://www.apc.com/jp/>

### 3.仕様

#### 全般

項目	仕様・機能	規格・備考
運転方式	常時商用	
冷却方式	自然空冷	

#### 外形寸法

H×W×D [mm]	88×180×343	
------------	------------	--

#### 質量

正味質量	4.7kg	
梱包質量	5.7kg	

#### 交流入力

定格入力電圧	AC100V	
相数	単相 2 線	アース付き
定格入力周波数	50/60Hz±3Hz	自動検出
最大入力電流	12A	
入力ブレーカ定格	15A	
入力ケーブル長	1500mm	入力プラグを含まず
入力プラグ形状	NEMA 5-15P	標準プラグ

#### 交流出力

定格出力電圧	AC100V	
相数	単相 2 線	アース付き
定格出力周波数	50/60Hz	入力電源に同期
最大出力容量	750VA/450W	
出力コンセント形状	NEMA5-15R	
出力コンセント数	合計 10 個 バックアップコンセント×5 個 (うち 1 個がマスタコンセント) サージ保護のみコンセント×5 個 (うち 3 個がマスタ連動コンセント)	
バッテリー運転時の出力電圧	AC100V ±8%	
バッテリー運転時の出力周波数	50/60Hz±1Hz	
バッテリー運転時の出力波形	矩形波	
対応負荷力率	0.60 以上 1.0 以内	

### 3.仕様(つづき)

#### 切替特性

項目	仕様・機能	規格・備考
外部電源動作の入力電圧下限	初期設定：90V 設定範囲：87-93V	
外部電源動作の入力電圧上限	初期設定：110V 設定範囲：107-113V	
停電時切替時間(通常)	最大 10ms	

#### バッテリー仕様

バッテリー形式	小形シール鉛蓄電池	長寿命タイプ	
バッテリー仕様	12V / 9Ah		
バッテリー個数	1 個		
バッテリー通常寿命	使用温度	交換目安	放電回数と周囲温度によって変化する。 ※交換目安は、保証値ではありません。
	5~25℃	4.0 年	
	30℃	2.8 年	
	35℃	2.0 年	
充電時間	約 16 時間	90%容量までの充電時間	
充電動作	AC 入力給電により充電	電源スイッチ OFF 状態でも充電	
交換用バッテリーキット型番	RBC17J		

### 3.仕様(つづき)

サージ/ノイズ抑制		
項目	仕様・機能	規格・備考
	APC ES 750	
サージエネルギー率 (1回 10/1000 $\mu$ s)	174J	ノーマルモード
	546J	コモンモード
サージ電流許容量(8 $\times$ 20 $\mu$ s)	6500A	最大ピーク
サージ応答時間	<50ns	ノーマルモード
	<50ns	コモンモード
ノイズフィルタ	1MHz 時 22.2dB	ノーマルモード
	10MHz 時 38.7dB	
	1MHz 時 27.1dB	コモンモード
	10MHz 時 40.1dB	

電気特性		
突入電流	7.61A <sub>peak</sub>	
消費電力	18W	通常
	26W	最大
発熱量	65kJ/h	通常時、全負荷
	94kJ/h	充電時、全負荷
	396kJ/h	バッテリー運転時
1m 距離での可聴ノイズ	45dB 以下	オンライン運転時
漏れ電流	1mA 以下	
耐電圧	AC1500 V-1 分間	
安全規格、EMC	TUV C-US, VCCI Class B	
管理ソフトウェア	PowerChute Personal Edition	標準バンドル

### 3.仕様(つづき)

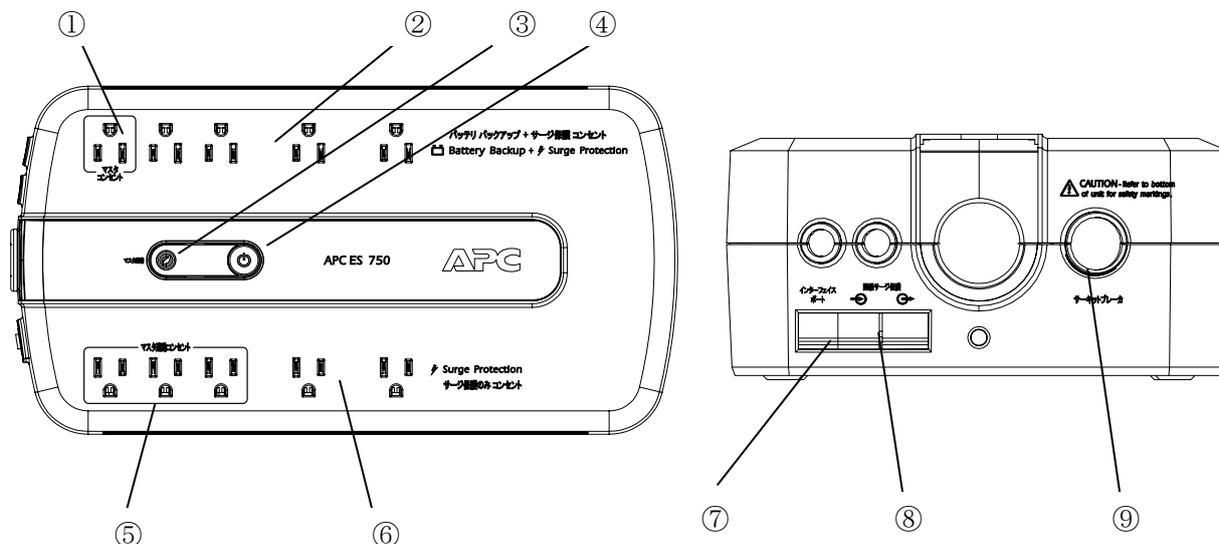
#### 保護動作

項目	仕様・機能	規格・備考
過負荷保護	サージ保護のみコンセント 入力ブレーカ(15A)による保護	
	バックアップコンセント 105%(検出) 120%以上(4秒後に停止)※	※バッテリー運転時に 有効

#### 使用環境

項目	仕様・機能	規格・備考
使用周囲条件	0~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	3,000メートル以下 (10,000フィート以下)	最大高度
保存周囲条件	-15~40℃	周囲温度
	0~95%(結露なきこと)	相対湿度
	15,000メートル以下 (50,000フィート以下)	最大高度

#### 4.各部の名称



No.	名称	機能説明
①	マスタコンセント	このコンセントに接続した機器の電源状態に応じ、マスタ連動コンセントの接続機器の電源管理を行うことができます。
②	バックアップコンセント (5個)	このコンセントは、バックアップとしての機能のほか、サージ保護機能があります。 停電時にはバッテリーから電源が供給されます。ただし、本装置の電源がオフになっている間は電源供給されません。 バックアップコンセントには、停電時にバックアップが必要な装置を接続します。
③	マスタ連動スイッチ (LED一体型)	マスタ連動機能の ON/OFF および設定に使用します。 LED の状態によりマスタ連動機能の状態を知らせます。
④	電源スイッチ (LED一体型)	UPS の起動、停止および設定に使用します。 LED の状態により UPS やバッテリーの状態を知らせます。
⑤	マスタ連動コンセント (3個)	マスタコンセントに接続された機器の電源状態に応じて、接続機器の電源管理を行うことができます。
⑥	サージ保護のみコンセント (5個)	このコンセントにはサージ保護機能はありますが、停電発生時にバッテリーによるバックアップはいたしません。入力ケーブルが接続されている場合、本装置の電源スイッチのオン/オフに関係なく、常に電源が供給されています。
⑦	インターフェイスポート (USB)	電源管理ソフトウェアがインストールされた PC と接続し、UPS 電源の管理、システムのシャットダウンを実行します。(付属のソフトウェアをご使用ください。)
⑧	回線サージ保護ポート	回線 (ISDN、ADSL、アナログ電話回線) を伝わってくるサージによる損傷からモデム、電話、FAX 等を保護します。
⑨	サーキットブレーカ	接続された負荷装置が UPS からの電源を過度に使用した場合は、本サーキットブレーカが UPS を電源から切り離します。その時、サーキットブレーカのボタンが飛び出します。

## 5.LED と警告音について

電源スイッチの下に LED があり、その LED の点灯状態や警告音の鳴り方により、本装置の状態をお知らせします。

状態	LED 表示	警告音	警告音停止の条件
<p><b>電源オン</b> - 本装置は、接続されている機器に調整された商用電源を供給しています。</p>	電源 LED - 点灯	なし	-
<p><b>オンバッテリー</b> - 本装置はバッテリーバックアップ側のコンセントに接続されている機器に、バッテリーから電力を供給しています。</p> <p><b>バッテリー残量警告</b> - 本装置はバッテリーバックアップ側コンセントに接続されている機器にバッテリーから電力を供給しており、バッテリー残量が低下しています。</p>	電源LED - 点灯 (通知音発生中は消灯)  電源LEDが点滅	30秒毎に4回の通知音  通知音が急速 (0.5秒毎)	本装置がオンライン稼働に移行した場合、または本装置の電源をオフにした時  本装置がオンライン稼働に移行した場合、または本装置の電源をオフにした時
<p><b>バッテリー交換</b> - バッテリーが接続されていません。</p> <p>バッテリーを充電する必要があります。または、バッテリーが通常の寿命を終えておりバッテリーの交換が必要です。</p>	電源LEDが赤の点滅  電源LEDが赤と緑の交互に点滅	連続音  連続音	電源スイッチで本装置の電源をオフにした場合
<p><b>過負荷シャットダウン</b> - オンバッテリー稼働中に、バッテリーバックアップ側コンセントの過負荷が検出されました。</p>	なし	連続音	電源スイッチで本装置の電源をオフにした場合
<p><b>スリープモード</b> - オンバッテリー稼働中にバッテリー残量が全くなくなり、本装置はオンライン稼働が可能になるまで待機しています。</p>	なし	4 秒毎に1 回の通知音	商用電源が回復した場合、商用電源が32 秒以内に回復しない場合、または本装置の電源をオフにした時

## 6. トラブルシューティング

問題	原因	対処方法
本装置の電源がオンにならない。	バッテリーが接続されていない。 商用電源が使用できなくなっている。 または商用電源が「電圧低下」または「過電圧」状態。	バッテリーを接続して(「バッテリーの接続」を参照)、商用電源が使用できるか確認してください。バッテリーを接続しているのに電源が使用できない場合は、通知音が 2 回鳴るまで電源ボタンを押し続けて装置を「コールドスタート」(バッテリー電源での稼働)します。
サージ保護コンセントで電源を使用できない。	サージ保護コンセントが過負荷。	サージ保護コンセントに接続している機器の数を減らしてください。
	商用電源が使用できない。	コンセントのヒューズやサーキットブレーカが作動していないか確認してください。また、コンセントを制御するスイッチがある場合はスイッチがオンになっていることを確認してください。
本装置の電源がオンで「バッテリー交換」表示が点滅し、装置が連続音を発している。	バッテリーが接続されていない。	バッテリーを接続します(「バッテリーの接続」図を参照)。
接続されている負荷機器の電源が消失している。	機器がサージ保護コンセントに接続されている。	電源障害時にも電源を維持する機器が、サージ保護のみのコンセントではなく、バッテリー電源+サージ保護コンセントに接続されているか確認してください。
	本装置が過負荷の状態になっている。	装置のコンセントに接続されている機器が、その容量を超える過負荷の状態になっていないか確認してください。確認のためには、機器をいくつか取り外して、問題が解消されるかどうかを確認してください。
	PowerChute Personal Edition ソフトウェアで、シャットダウンが実行された。	本装置は通常に稼働しています。
	本装置で使用可能なバッテリー容量が低下している。	バッテリー電源を使い切ると、本装置の電源はオフになります。最大バックアップ時間を確保するには、本装置を 24 時間以上再充電してください。
	接続されている負荷機器が、本装置からの電力波形(矩形波)を受け入れない。	この出力波形は、コンピュータやコンピュータ関連機器用に設計されています。モータ駆動の機器での使用向けには設計されていません。
	本装置が故障している。	APC テクニカルサポートにお問い合わせください。
	本装置の電源 LED が点灯し、30 秒毎に 4 回警告音を発生する。	本装置はオンバッテリー稼働中である。
本装置の電源 LED が点滅し、同時に 1 秒に 2 回警告音が発生する。	バッテリー容量が低下している(約 2 分間使用できる残量)。	本装置は、バッテリー充電容量低下のためシャットダウンする寸前です。通知音が毎秒 2 回発生する場合、バッテリー残量は約 2 分間です。コンピュータと装置の電源は、オフになります。通常の電源が回復すると、装置はバッテリーの再充電を開始します。

## 6. トラブルシューティング (つづき)

問題	原因	対処方法
バックアップ時間が不十分。	バッテリーが完全に充電されていない。	16時間以上、装置を壁面のコンセントに接続したままにしてください。
	バッテリー寿命が終了する寸前である。	バックアップ時間の長さは、バッテリー寿命が近づくに従って減少します。より詳しくは、APC テクニカルサポートにお問い合わせください。本装置を過度の高温環境に配置すると、バッテリー寿命が短くなります。
本装置から電話/FAX/DSL 信号が送信されない。	通信用ケーブルが、本装置の誤ったジャックに接続されている。	通信用ケーブルを回線サージ保護の In 側と Out 側のそれぞれ正しい位置に接続してください。 電話回線の場合は付属品を使用していることを確認してください。
電源障害中にインターネット接続が消失した。	モデムの AC 電源が消失している。	モデムの AC 電源コードを「バッテリーバックアップ+サージ保護コンセント」の 1 つに接続してください。

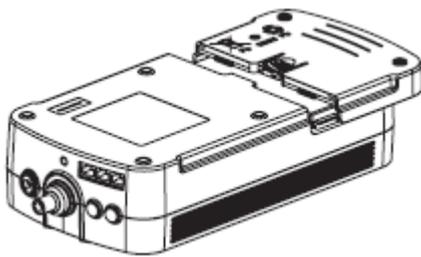
## 7. 操作手順

1. バッテリーを接続してください。

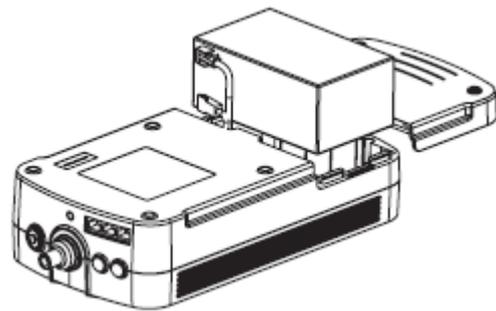
危険防止の理由から、本装置は内部のバッテリーの接続を取り外した状態で出荷されています。下図を参照してバッテリーを接続してください。

備考：バッテリー接続時にコネクタから小さな火花が出る事がありますが、異常ではありません。

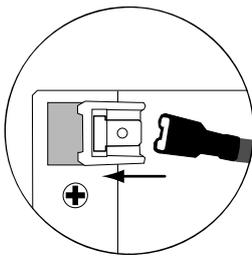
1. 本装置を裏返して、カバーのくぼみ部分を押しながらカバーをスライドさせて装置から取り外します。



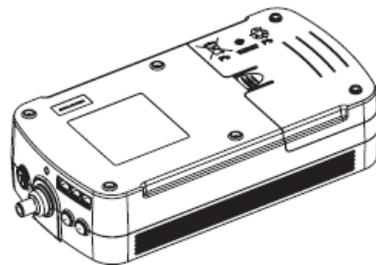
2. バッテリーを引き出します。



3. 赤のバッテリーワイヤをしっかりと奥まで差込みます。



4. バッテリーを元の位置に戻し、カバーのつめがロックされるまでバッテリーカバーをスライドさせます。



## 2. 充電をしてください

本装置は、使用前に 16 時間以上充電する必要があります。本装置を商用電源に接続してください。

備考：バッテリーは、本装置が商用電源に接続している間は常に充電します。



**UPS のバッテリーは 16 時間充電されるまではバッテリーバックアップ時間が短くなることもありますのでご了承ください。**

### 3. 機器（負荷）を接続してください

本装置には以下のように 2 種類のコンセントがあります。接続機器（負荷）の用途に合わせてご使用ください。

#### (接続例)

##### **バックアップコンセント x 5 個の接続例**

バックアップコンセントは停電時にはバッテリーから電力が供給され、サージ保護機能を有しています。停電時に電源バックアップが必要な装置を接続します。

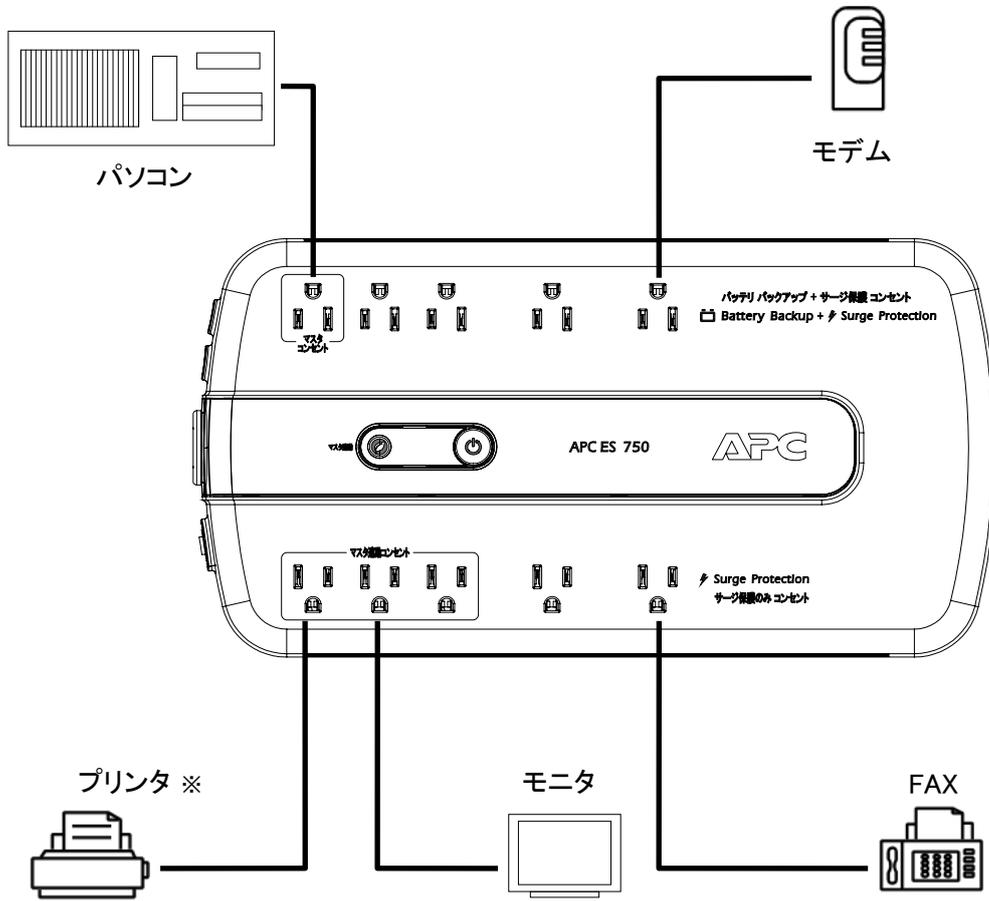
##### **サージ保護のみコンセント x 5 個の接続例**

サージ保護のみコンセントは電源スイッチの On / Off に関係なく、常に電源供給がされています。停電時には電源バックアップいたしませんので、電力供給が止まっても問題ない装置を接続します。

##### **マスタコンセントおよびマスタ連動コンセント**

待機電力を節約するために、本装置のマスタコンセントにコンピュータをつなぎ、マスタ連動コンセントにその周辺機器をつなぐことで、コンピュータのスリープモード、またはオフに連動して周辺機器を自動的にオン/オフすることができます。マスタ装置がスリープモードまたはスタンバイモードになるか、電源をオフにすると、周辺機器の電源もオフになり電力が節約されます。

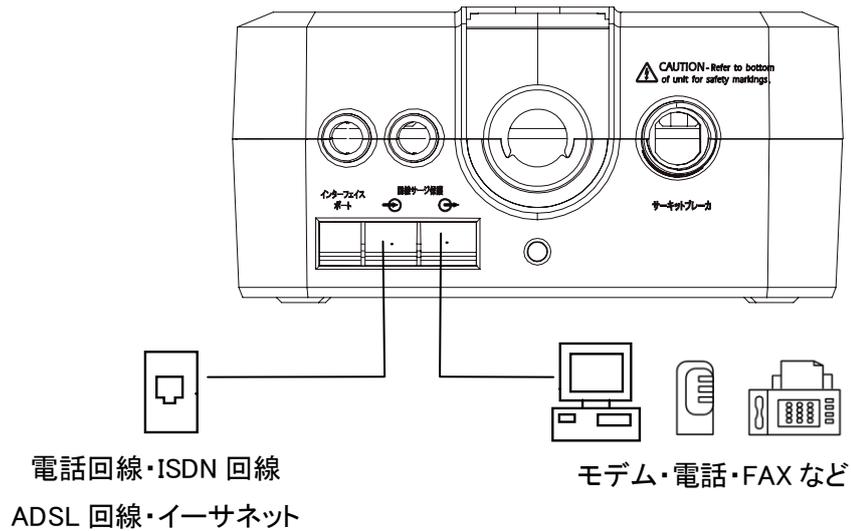
[接続例]



※レーザープリンタは接続しないでください。

### 回線サージ保護ポートへの接続例

本装置背面にある回線サージ保護ポートは、回線（ISDN、ADSL、アナログ電話回線）を伝わってくるサージによる損傷からモデム、電話、FAX等を保護します。図に従って接続してください。

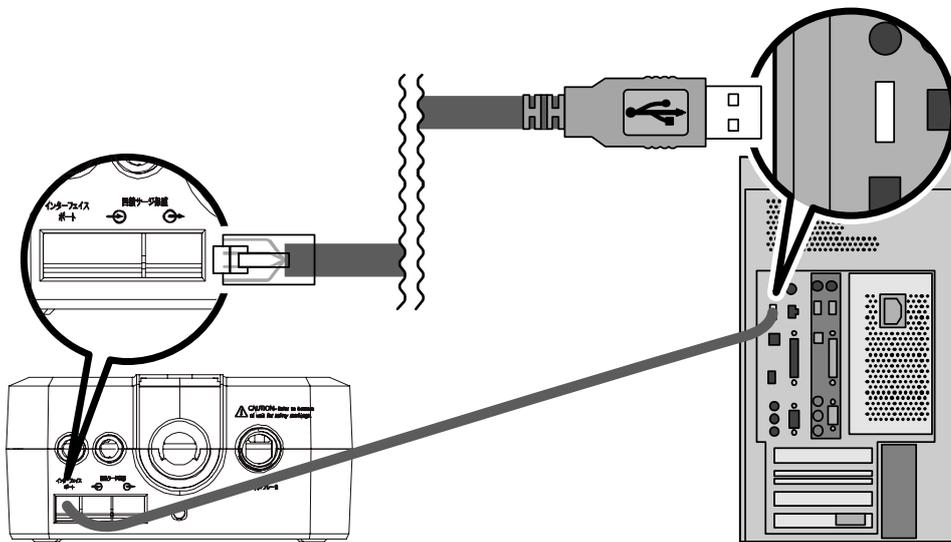




力率改善型コンデンサを使用した電源、変圧器（トランス）、レーザプリンタの接続および延長ケーブルを使用したタコ足配線は故障の原因となります。

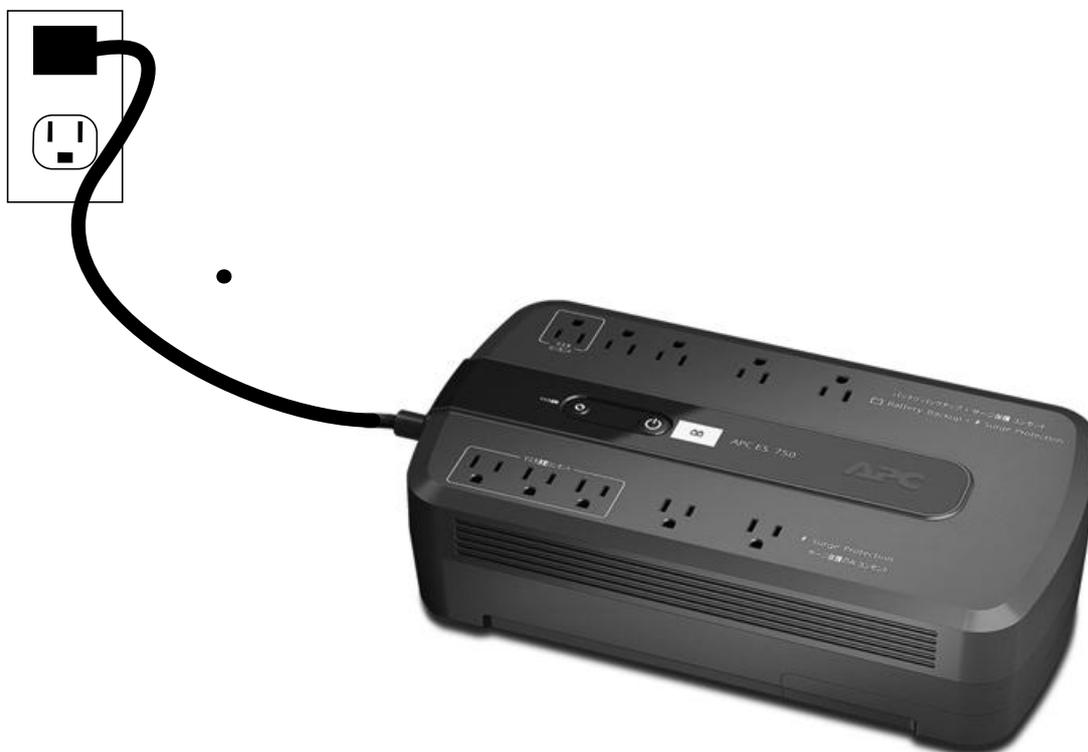
備考： 接続する前に、お客様がご使用になる機器の消費電力をご確認し、最大出力容量範囲以内でご使用ください。

電源スイッチをオンにしてください。本装置はセルフテストを行います。セルフテストでは接続機器（負荷）の容量、バッテリーおよび内部回路の状態をテストします。



## 8. 設置

コンセント部分が上側になるように、平で安定した、通気の良いところに設置してください。



## 9. USB ケーブルを接続

本装置背面パネルにあるインターフェイスポートに USB ケーブルを接続し、バンドルされている UPS 電源管理ソフトウェアをインストールすることで、高度な電源管理が可能になります。



**USB ケーブルは USB ハブではなく必ずコンピュータの USB ポートに直接接続してください。**

## 10. 保管

UPS の保管の際はバッテリーを十分に充電し、カバーを掛けて温度が低く乾燥した場所に保管してください。保管する前に少なくとも 16 時間充電します。バッテリーの消耗を避けるため、コンピュータインターフェイスポートに接続されている全てのケーブルを外してください。

### ・ 長期保管について

本装置では、バッテリーを使用しています。そのため、保管中には定期的に補充電を行ってください。なお、電池工業会では小形制御弁式(シール)鉛蓄電池の取扱いの指針（電池工業会指針：SBA G0202）に基づき、以下のとおり補充電を必要とする時期を定義しています。

温度	期間
25°C以下	6ヶ月以内
30°C以下	4ヶ月以内
35°C以下	3ヶ月以内
40°C以下	2ヶ月以内

## 11. ランタイム

型番		BE750G-JP
最大出力 VA		750
最大出力 W		450
VA	W	バックアップ時間 (単位 : 分)
50	30	108
100	60	50
150	90	30
200	120	22
250	150	16
300	180	11
350	210	9
400	240	7.2
450	270	6.5
500	300	5.7
550	330	4.9
600	360	4.1
650	390	3.3
700	420	2.4
750	450	2

上記バックアップ時間は力率=約0.60の負荷を想定した値となります。

また、数値に関してはあくまでも参考値であり、実際のバックアップ時間は充電状態、周囲温度、使用年数等により異なります。

## 12. 製品保証

### 保証範囲

シュナイダーエレクトリック株式会社は、商品に対して下記で示した期間の無償保証を行います。

但し、日本バージョンの日本国内で使われているUPSに限ります。

この保証は天災や事故によるダメージ、お客様の過失、間違った使用や改造したUPSには適用されません。

### 保証期間及び各保証範囲

#### 1 無償保証

- ・ 購入日より起算して2年間。
- ・ 無償保証期間内でも次の場合は有償扱いになります。
  - 1) ご使用上で誤り、又は改造や不当な修理、改造による故障及び損傷。
  - 2) お買い上げ後の不適切な取り扱い（例：落下）、あるいは引越し、輸送等による故障及び損傷。
  - 3) 火災、地震、落雷等による天災地変ならびに公害や異常電圧。  
その他、外部要因による故障及び損傷。

#### 2 有償保証

- ・ 無償保証期間2年経過後の商品

#### 3 供給及び修理の継続

- ・ 購入日より起算して5年間の保証とします。

### 生命維持に関する方針

#### 1 一般的な方針

シュナイダーエレクトリックは、一般的な方針として生命維持装置に当社のいかなる製品もご使用いただくことをお勧めしません。生命維持装置では、APC 製品の障害や誤動作によって生命維持装置に障害が発生したり、それらの装置の安全性や有効性が著しく損なわれることが当然予期されます。シュナイダーエレクトリックは(a)ケガや損傷の危険性が最小となっており、(b)お客様がそのようなすべての危険性を承知し、(c)その状況のもとでシュナイダーエレクトリックの責任が十分保護されることが書面で十分保証されるまでは、生命維持装置の領域で使用することを承知しながら当社の製品を販売することはいたしません。

#### 2 生命維持装置の例

生命維持装置とみなされる装置の例としては、新生児酸素分析装置、神経刺激器（麻酔、鎮痛等に使用）、自動輸血装置、血液ポンプ、細胞除去器、不整脈検出器および警報器、ペースメーカー、血液透析システム、腹膜透析システム、新生児人工呼吸保育器、大人/子供兼用人工呼吸器、麻酔人工呼吸器、点滴ポンプ、および合衆国食物医薬品局が「生死に関わる」と指定したその他すべての装置があげられます。

多くのAPC UPSシステムに対し、オプションとしてAPC社製品以外の「病院等級/医療機器等級」の配線装置と漏れ電流装置を注文ができるものがありますが、シュナイダーエレクトリックではこのような修正が施された装置が、弊社または他の組織によって「病院等級/医療機器等級」として認定あるいは分類されていると提言するものではありません。

### 13. 外形図

